

# TS少女と二人の親友

友情崩壊モノガタリ



ああああ太い太い  
いっ!

丸井

ん

不

僕には二人の親友がいる。

いつもクラスで一人、本を  
読んでいた所、この二人は僕に  
話しかけてくれた。

寡黙で優しい田中君に

少しお調子者の丸井君

僕がある日を境に女の子になっても、何時もと変わらず  
明るく接してくれる、僕の自慢の親友達だ



ただ最近ちよつと・・・

山田、車道側は危ないぞ

え、あ、うん・・・

田中君・・・？

ガ  
ミ  
もん

乳首当てゲームっ！

えっ！

も、もう！！

ガ  
ミ  
もん

スキンシップが  
激しいような・・・  
それに・・・

少し変わったお願い事を  
される事も多くなった  
気がする……

こ、こうかな……？

カキム

カキム

おお、可愛いですぞ山田氏

カキム

次はこのポーズ  
お願いしますぞ。

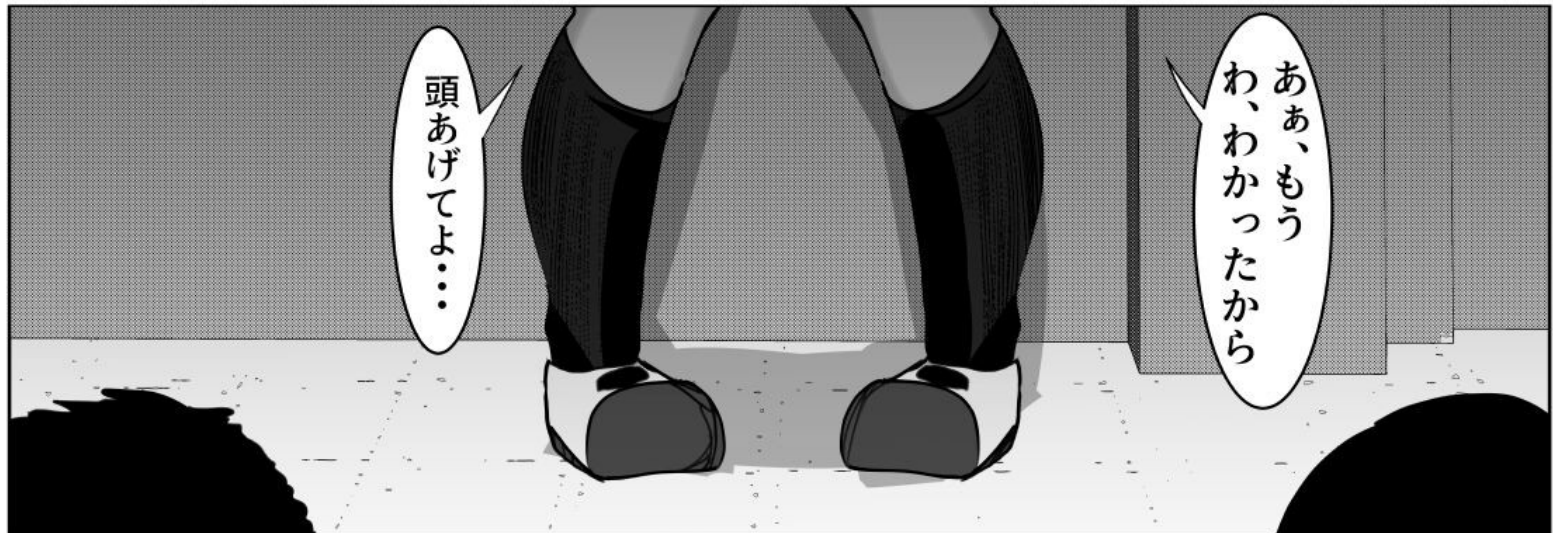


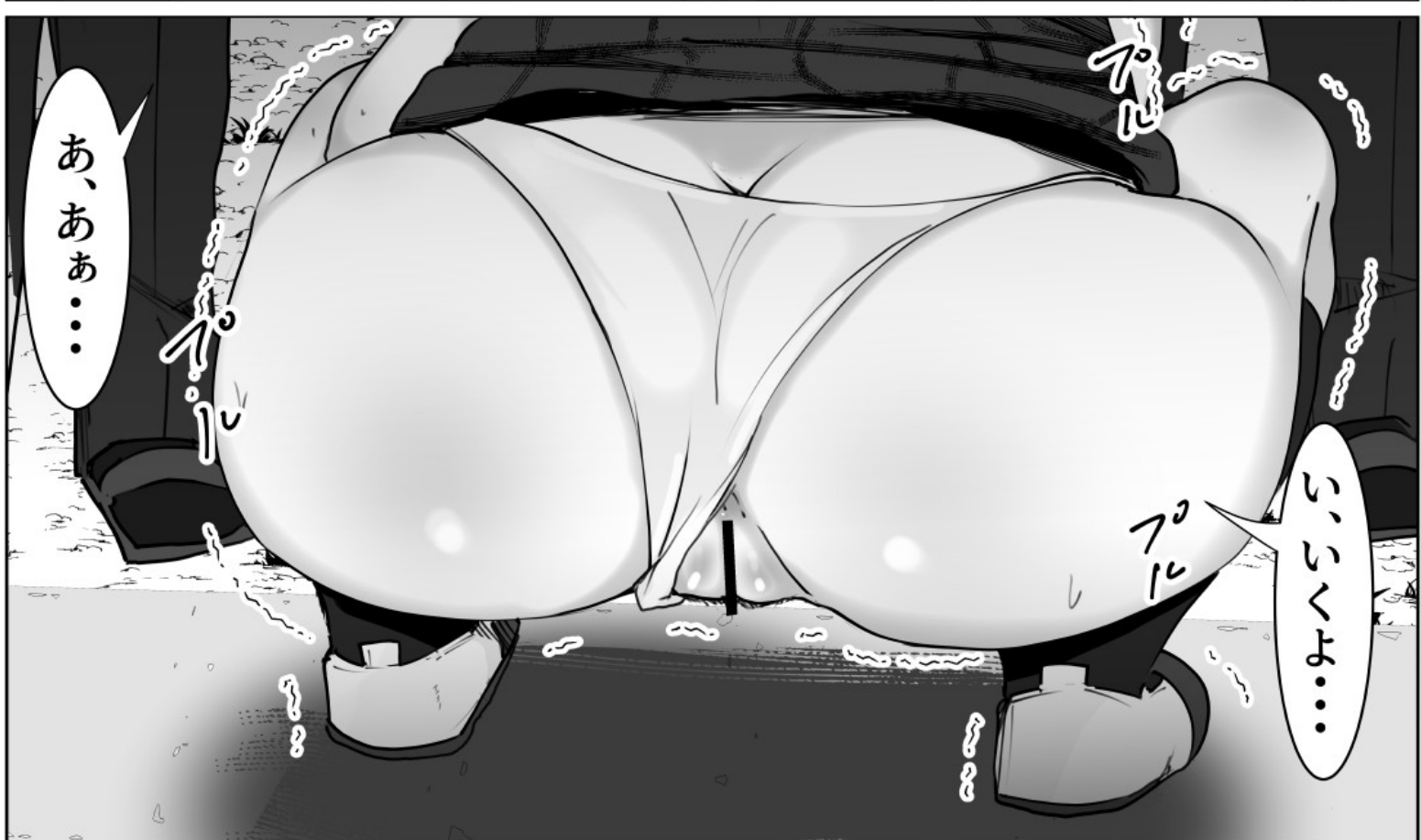
どうしたんだろ？

.....

な、なあ...  
や、山田氏...  
おしっこしてる所  
撮らせてくれないか  
なあなんて...

えっ!?





それに思ったより音が…

トッ

うう…  
は、恥ずかしい…

ふむ

おお

ジュウウッ

終って…

は、早く



お、おわったよ……

も、もういいよね……僕  
塾だし、そろそろ……

……



ポタ

ポ



田中氏……俺  
もう我慢できそうにない……

丸井流石にお前、  
それは、まずいだろう……



丸井……

君っ!?

モッ

ドク

ドク

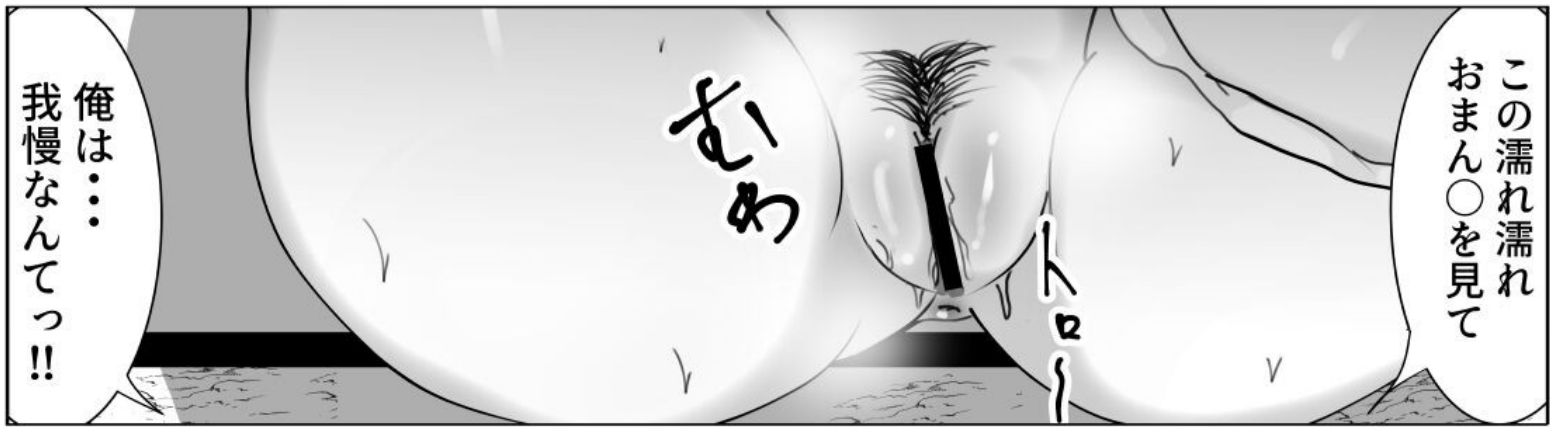


や、山田氏っ！

お、おい丸井っ！

カッパッ

ちよ、ちよっとっ！  
ま、丸井君っ！



この濡れ濡れ  
おまん〇を見て

わいあ

トロー

俺は…  
我慢なんてっ！！



田中氏…俺は  
もう決めましたぞ…

カシ

ホロミ

ま、丸井君!!

お、落ち着けっ！  
丸井っ！





ズン

痛いっ!

ううそっ!?

山田!

痛いっ!



田中君っ…  
助け、て…



ダメ…丸井君…  
全然聞いてない…

痛いよ丸井君…

だ、大丈夫、山田氏、  
そんなの気にならないくらい  
気持ちよくするから



今いい所なんだ、田中  
邪魔するつもりか？

トニ



お前の邪魔はしない

田中君…？

トニ

だが、前から



好きにさ  
せてもらおうぞ

トニ

えっ…





前からは田中君がっ!

あああああつ



下からは...  
ま、丸井君がっ!

さっきまで痛かった  
のに...

何でっ...



僕、襲われてるのに...  
体が...

山田氏も気持ちよさそう  
でやんすね



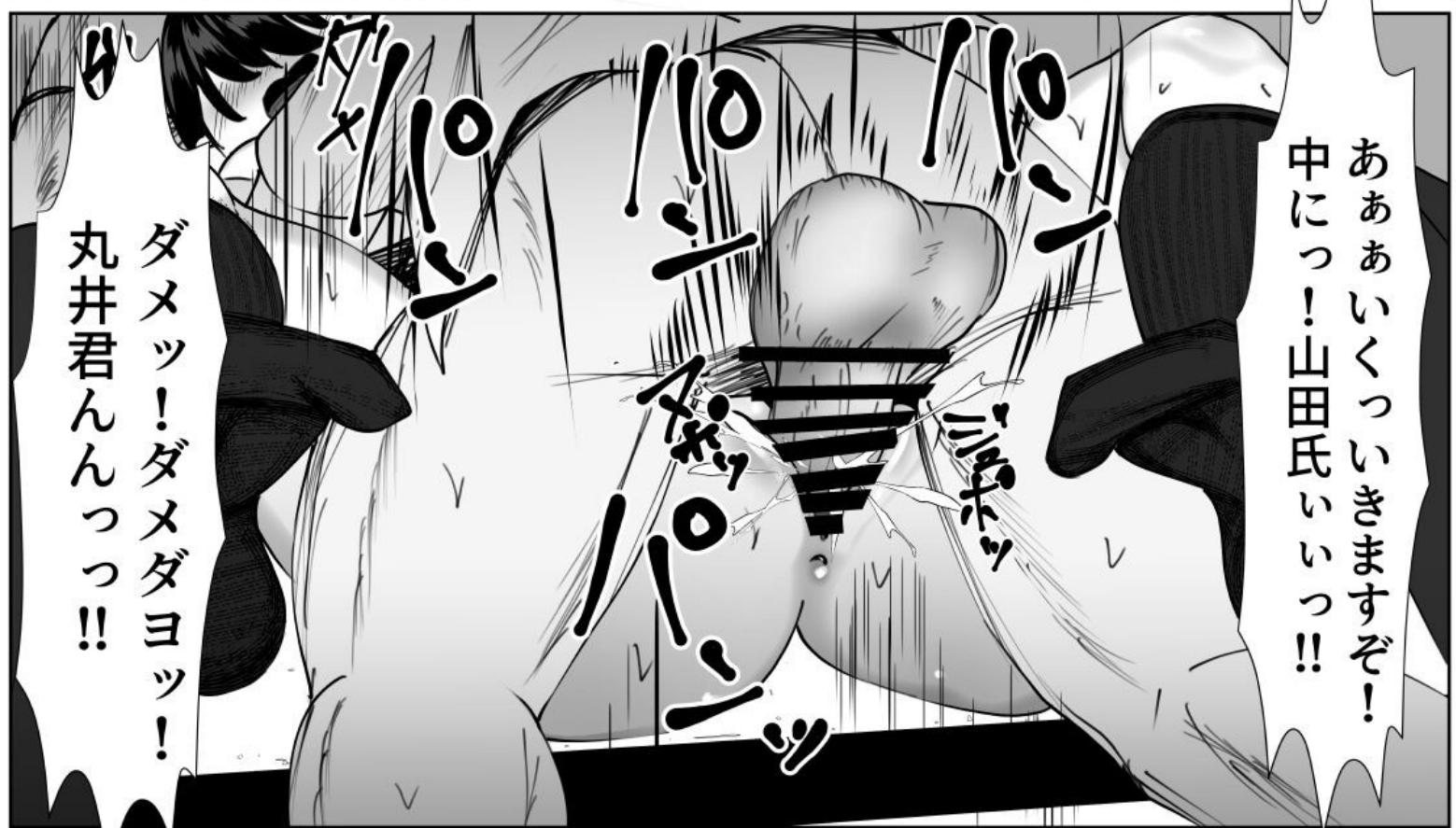


山田氏…  
すまぬっ！拙者っ！

えっ!?ダメダメダメっ!  
中はダメツツ!

おいっ！丸井っ!  
お前わかってるんだらう  
なっ！中はっ!!

もう、と、とまらないで  
ごめんっ!!



あああいくついきますぞ!  
中にっ！山田氏いいっ!!

ダメツ！ダメダヨツ!  
丸井君んっ!!

田田さん！

あははは

田田

はは

はは

はははは

はは

はははは

はは

はは

嘘……だよ……

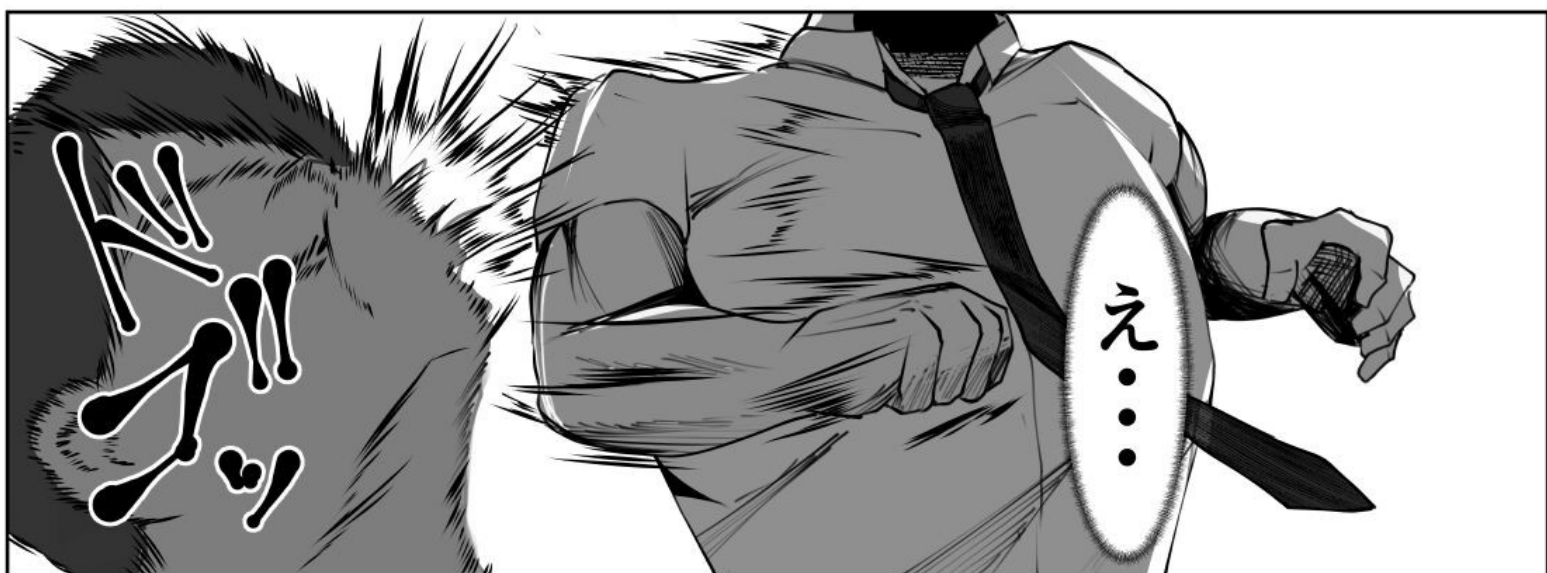
ポホ

はは

ト

はは

はは





た、田中君……ま、丸井君が……

嫌だったよな……丸井の精〇なんて……



田中君何言って……

いや、こ、来ないで……

大丈夫だ、安心しろ……ちゃんと俺の精〇で上書きしてやるからな山田……



は、離して田中君!!  
も、もう嫌っ!嫌なの中はっ!

山田暴れるな  
落ちるぞ...

えっ!

ニダ

ガタ

アイ

これ...  
丸井君のより...



ま、待ってよ...  
た、田中君...

こんな大きいの  
は、はいらよ僕っ!?

フニ

フニ





ダメエツこれダメエツ

あぁあつ

あぁあつ!



太いいいっ!  
太いいいっ!

あぁあぁあぁ

まったく今日は何時になく  
しゃべるな山田……  
耳元でうるさくてかなわん



ふんっ!

んぎっ!

んぎっ

ちよつと田中くうんんっ!

こっち側も中々いいな...

だめええ  
おちん○ん根本までいれっ!



おぐっ、おぐあたるうう

おぐッ

いくっいくっ

ぐんぐん

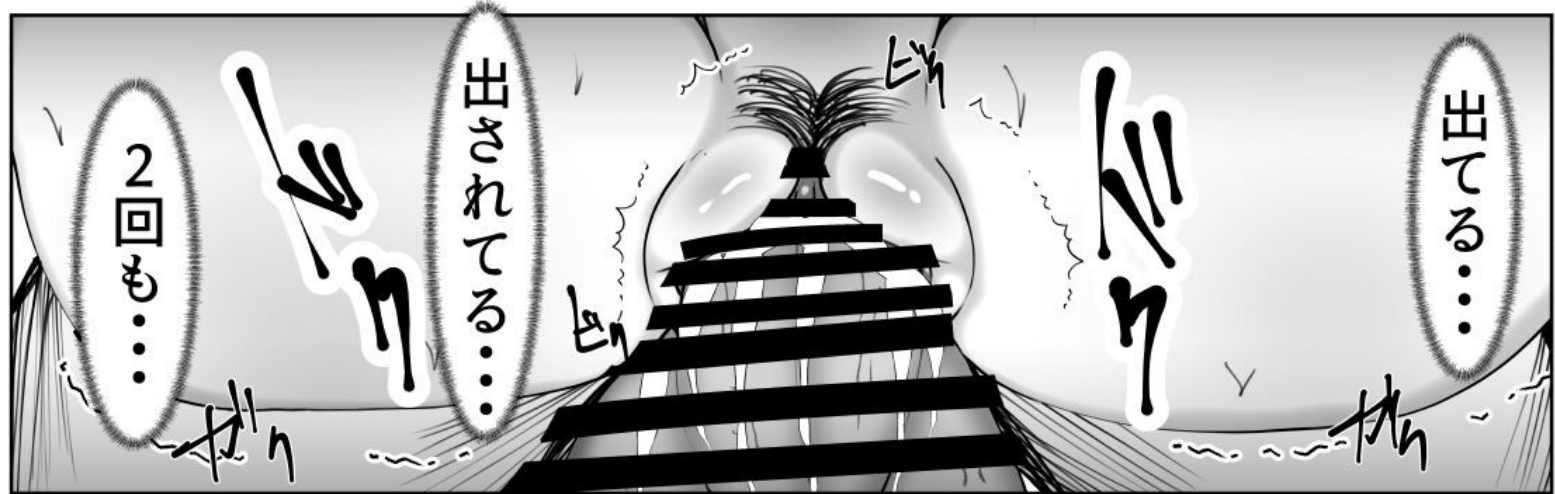
おお、山田根本まで啜えて、  
やっぱり俺のちん○の方がいいよな?







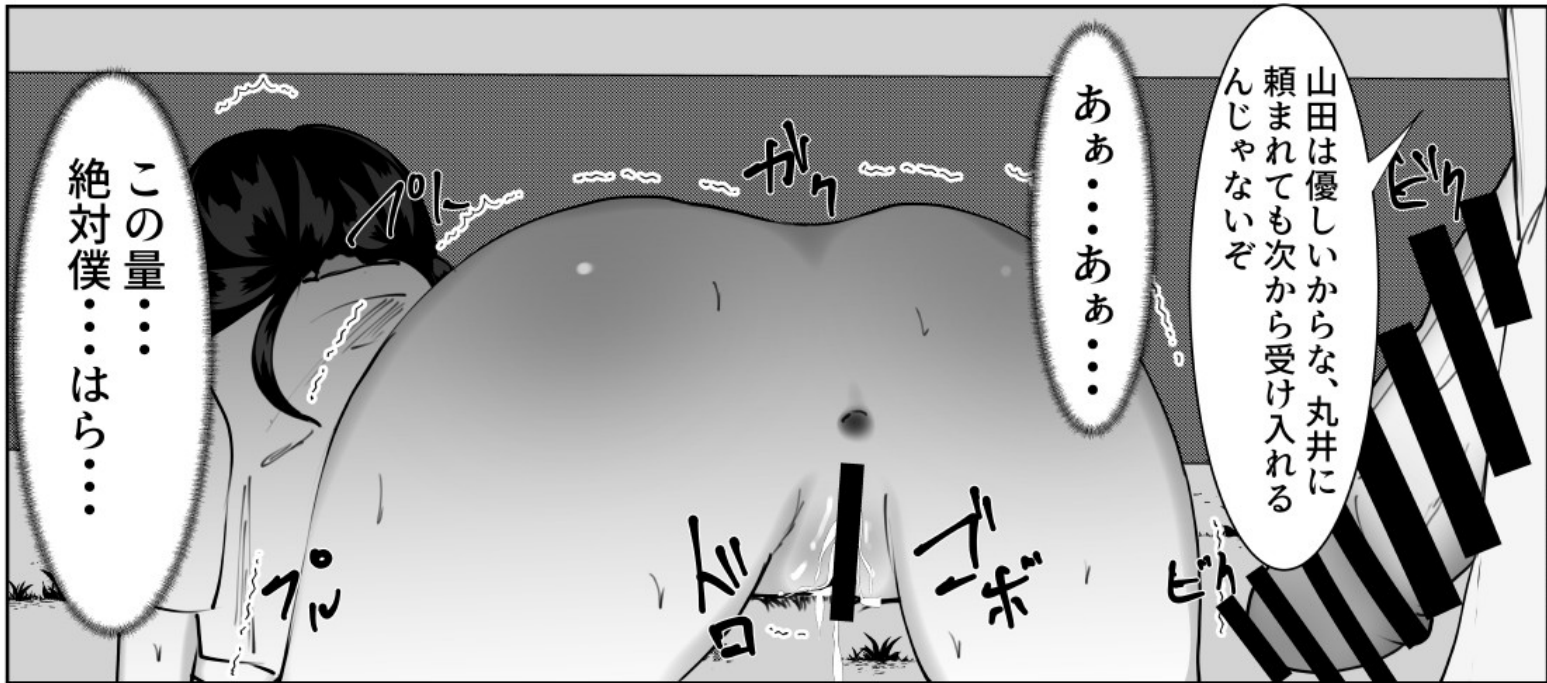
ダメエエエエツ!!



2回も...

出されてる...

出てる...



山田は優しいからな、丸井に頼まれても次から受け入れるんじゃないぞ

ああ……ああ……

この量……絶対僕……はら……



だが、そろそろ時間か、山田今日塾だっただろう？

何を言ってるの……

そうだな……明日は……



俺の家でやろうな？

何を言ってるのか一瞬、理解できなかった……だけど、この瞬間僕は、理解した……二人とっての僕は……都合のいい女の僕なんだと……

疲れただろう山田  
肩かすぞ

着替えが終わった、何時もの  
ように、優しく気遣う田中君に  
僕は今、恐怖を覚えてる。  
でも、聞かすにはいられ  
なかつた……その優しさに今の  
丸井君は含まれてるのか……  
淡い希望を求めて……

あ、あの……  
丸井君は……？

彼は言った……本当に呆気なく……

どうしてもいいだろう、そんな奴。

おわり